

* 甲山森林公園のサクラ

・ソメイヨシノの開花

先週3月23日に続き、昨日も甲山森林公園の展葉調査にオジャムシとして参加した。展葉に関してはまだ0～1の範囲であったが、コバノミツバツツジやサクラ類の開花は随分進んで来ている。中でも驚いたのは、ソメイヨシノの開花である。通常は麓の夙川公園などからは1週間前後遅れの満開となっていたが、今年は逆転、夙川公園などは3月22日前後の開花で



未だ、5分咲き程度。ところが、先週23日には、まだ殆どの木では花は一輪も見られず、数本で数輪の開花、「開花宣言は明日」としてきた木々が写真のように8分から満開の状況となっていた。メンバーの一人からは、この先の北山ダム周辺のソメイヨシノも満開と聞いた。どうやら、この甲陽台地一体のサクラが満開に達したようである。

この附近の標高は160mほどであるから、精々麓とは1℃程度の差かなと思っていた。そこで、展葉調査に設置している温度計の昨年度の値と、同年の麓の神戸気象台の2～5月の実績値を比較して

月	日平均気温		最高気温・平均		最低気温・平均	
	甲山森林	神戸	甲山森林	神戸	甲山森林	神戸
2月	5.7	8.0	8.6	11.2	3.0	5.0
3月	8.5	10.8	12.1	14.3	5.1	7.2
4月	12.5	14.5	16.7	18.6	8.6	10.7
5月	18.5	20.6	22.5	24.8	14.7	17.0

みたのが右の表である。実際には2.0～2.3℃の差があることが分かった。

今年の甲山森林公園の実際の気温は、機器の回収される6月までは分からないが、神戸気象台の測定値よりは2℃低いとして、サクラだより17で計算したような手法で、2月1日から開花日とした3月24日までの積算温度を計算してみると、**380℃**となる。(2月、3月の平均温度差2.3℃で計算すると365℃程度。) いずれにしても、400℃ルールを適用すると、ここでは休眠打破は2月以前に始まっていたことになる。経験則ではあるが、一般的には開花から満開までの日数は1週間前後とされており、甲山森林公園附近での開花、3月24日、満開3月30日は期間の気温が高めであったことを考慮すれば極めて自然。異常なのは、麓のソメイヨシノということになる。

・ヤマザクラ

この時期、甲山森林公園を彩るサクラには通称「ヤマザクラ」がある。早いものは、コバノミツバツツジと前後して開花する品種から、未だ蕾といった品種まで多様である。特に(南)入口近くの陸橋からは甲山を背景に20本近くの多種のヤマザクラが次々に咲き、しかも高さ10mほどに達する樹の樹冠が手の届くような位置で見られるので目を楽しませてくれる。勿論、ヤマザクラの所在はここに留まるわけではなく、公園内の随所で見ることができる。今、満開となっているのは、茶色の葉と白花をつける図鑑掲載の代表種である。公園内には株立ちとなった大きな木が10数本はあるのではなかろうか。花の

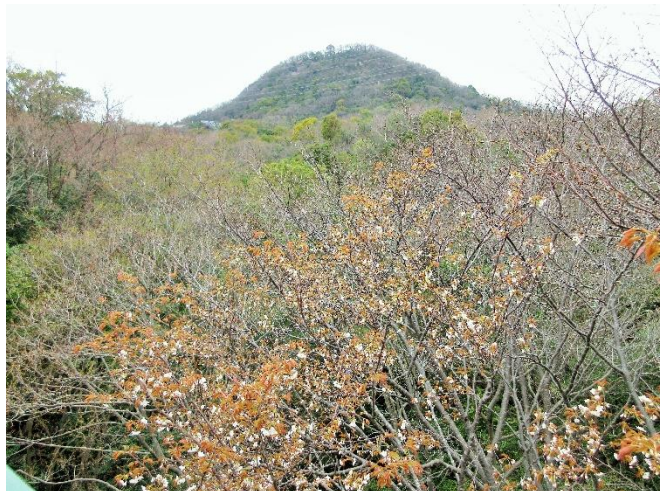
付き方（量）は様々であるが、右の一本は花付きが特に良い一本である。ソメイヨシノのモノトーンの色彩よりはこちらの方がよほど良い。ソメイヨシノが代表的な「桜」となるまではこの様な品種が貴人には好まれたのであろう。

ところで、この様な品種は今でも「ヤマザクラ」として、公園や庭園にも植えられている。

サクラだより16では、夙川のヤマザクラが満開であったと記した。品種は多分これと同じと思われる。甲山森林公園ではソメイヨシノとは異なり、麓より、5.6日遅い満開であった。気温にリンクしたごく自然の現象と言えよう。

九州や紀州のような暖地では昔から、ヤマザクラはソメイヨシノより先に咲く。この理由は多分「休眠打破」に必要な（低）温度と期間の違いからヤマザクラの方が早く目覚めている。後は積算温度の問題と考えれば良いと思う。

下の写真は陸橋の上からのヤマザクラ群、来週はどんな姿を見せてくれるだろうか。咲いているのも、咲きかけのもの、枯れ木のようなものも全て「ヤマザクラ」。



* 荒れ果てた花園？ 芦屋市六麓荘町の枝垂桜

自宅軟禁状態の気晴らしと、健康維持の目的で附近の「花」を訪ねて歩いている。その中で、新しい？発見があったので紹介しておきます。自宅から20分ほど坂を上がると、日本一の高級住宅地と言われる六麓荘の入り口に達します。この町の入口附近に何と50本ほどの枝垂桜が植えられているのです。いずれも10mを超える巨木です。この地は1928年に国有地の払い下げを受け、別荘地として開発され、戦前までには住居の他、高級国際ホテル、遊園地、スケート場などがあったとの記述が残っています。これ等開発の過程で植えられたものなのでしょうか。詳細は不明。今は全く手入れもされず、3つの柵状の荒れ地の周囲にひっそりと老体？を曝している。半数以上は樹勢が弱ったのか花はつけていないが、10数本はなお健在で、写真のように見事に花を付けている。これだけ多くの枝垂桜が見られるところも希であろう。場所が良ければ多くの人が訪ねたであろうに。



一部の枝はバス道に垂れさがっています。

